

旅人を“ムラビト”へ  
どこにでもある田舎から、  
何度も訪れたいくなるふる里に。

— 第2次胎内市観光振興ビジョン(概要版) —

2019 - 2029

胎内市の観光振興は市民全員参加で次の10年を紡ぎます。

## 観光を私達ひとりひとりの活躍の場に

私達の日々の暮らしや営みには、旅人が時間とお金をかけてでも体感したい魅力が溶け込んでいます。

こうした魅力を、観光施設やご商売を営んでいる方だけでなく、

私達ひとりひとりが主役になり、旅人に提供していくことで、

「旅人」はその場限りのお客様から何度も胎内市を訪れてくれる「ムラビト」へ、

胎内市は「どこにでもある田舎」から「何度も訪れたいくなるふる里」へと変化してゆくのです。



## 観光を私達ひとりひとりのナリワイに

わが国における政策目標

訪日外国人旅行者数	2020年： <b>4,000万人</b> (2015年の約2倍)	2030年： <b>6,000万人</b> (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	2020年： <b>8兆円</b> (2015年の約2倍超)	2030年： <b>15兆円</b> (2015年の約4倍超)
地方部での外国人延べ宿泊者数	2020年： <b>7,000万人泊</b> (2015年の約3倍弱)	2030年： <b>1億3,000万人泊</b> (2015年の5倍超)
外国人リピーター数	2020年： <b>2,400万人</b> (2015年の約2倍)	2030年： <b>3,600万人</b> (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	2020年： <b>21兆円</b> (最近5年間の平均から約5%増)	2030年： <b>22兆円</b> (最近5年間の平均から約10%増)

出典：平成28年3月策定 明日の日本を支える観光ビジョン

観光産業は、わが国の様々な産業のなかでも、いま取り分け大きな経済成長が期待されています。

そうした観光産業は、私達のより多くが携わることで、

私達にとって、直接的な収入を得る機会となるだけでなく、

経済波及効果を市内で循環させることにもつながります。

## 【基本コンセプト】

**どこにでもある田舎から、何度も訪れたいくなる“ふる里”に  
～胎内のみんなで“旅人”を“ムラビト”へ～**

- ・ 地域が育んできた食や農作業、自然体験といった生活文化、その地で触れ合う人々などの要素を活かし「体感」できるようにする。
- ・ これにより、訪れた人と地域の人との交流を生みだし、訪れた人を単なる“旅人”ではなく、「ふる里」に愛着を持つ“ムラビト”にしていく。

## 【狙うマーケット】

- 日帰り客：新潟県内（新潟市居住者中心）及び近隣県居住者
- 宿泊客：市外居住者（新潟市及び首都圏）

**【量的目標※】**（対象施設の精査のほか市内外など属性別の数値も計画期間中に把握していく。）

指標	現状値	目標値	設定根拠
観光入込客数	約1,100千人	1,300千人	第2次胎内市総合計画（終期H39年度）による目標値と同値に設定
主要観光施設売上高	約6億円	7億円	主要施設における計画終期の目標値を積み上げ
主要宿泊施設延べ宿泊客数	25,000人泊	28,000人泊	主要宿泊施設における計画終期の目標値を積み上げ
主要宿泊施設リピーター率	42.8%	42.8%	主要宿泊施設における計画終期の目標値を積み上げ（新たな顧客獲得を目指しつつ、現状値を維持。）。

## 【質的目標※】

- 満足度
- 再来訪意向

アンケート等を徴取し現状の数値を把握した上で  
平成31年度中に目標値設定。

※計画終期である平成41年3月31日における目標

[基本コンセプト]

[4つの重点戦略]

[10の実行プロジェクト×2つの横断的取り組み]

いつでもある田舎から、何度も訪れたくなるふる里に  
胎内のみんなで旅人をムラビトへ

①胎内の魅力を活かしたプログラムを創出する

1. 胎内の海・山・川を活かした各種体験・滞在プログラム創出プロジェクト

2. 胎内の食と生活文化を融合した新たな魅力創出プロジェクト

3. 外国人も満喫できる各種体験・滞在プログラム創出プロジェクト

②既存の施設の充実・活用を推進する

4. 市内の観光関連施設の見直し・整備推進プロジェクト

5. 市内の各地区及び観光関連施設の連携強化プロジェクト

6. 既存の施設等を活用した飲食/物販の核となる場づくりプロジェクト

③市内の回遊性を向上する

7. 市内各スポットを巡ることのできる二次交通整備プロジェクト

8. 回遊を促す案内・誘導ツールの充実プロジェクト

④市民の観光への理解と参画を促進する

9. 観光による効果の見える化・市民への発信プロジェクト

10. 観光にかかわる取り組みへの市民参加促進プロジェクト

観光推進体制の強化 ∞ 胎内リゾートの再生

# 戦略1 胎内の魅力を活かしたプログラムを創出する

胎内の海・山・川を活かした各種体験・滞在プログラム創出プロジェクト



## 10年後に目指す姿

胎内の自然（海・山・川）を活かした各種の体験・滞在プログラムが、四季それぞれ創出されているとともに、恒常的に実施されている（観光客がいつ訪れても参加可能な状態となっている）。

## 実施すべき取組

- ✓ 体験・滞在プログラムに活用できる地域資源の発掘とプログラム化
- ✓ 各種体験・滞在プログラムの集約と販売・PR

## 市民の皆様の役割

- ✓ 地域資源に関する掘り起こし作業（資源にまつわる歴史等の整理、資源利用の許可等）
- ✓ 各種プログラムの実施（及び実施への協力）

胎内の食と生活文化を融合した新たな魅力創出プロジェクト



## 10年後に目指す姿

胎内の様々な食の魅力（米粉、山菜、ワイン、ビール等）が、胎内の生活や歴史文化を感じながら味わえるようになっている（各種体験・滞在プログラムに組み込まれたり、単独でプログラムになっている）。

## 実施すべき取組

- ✓ 胎内の食と生活文化の結びつけ・プログラム化
- ✓ 整備されたプログラムの集約と販売・PR

## 市民の皆様の役割

- ✓ 食や生活、歴史文化に関する掘り起こし作業（関連する歴史等の整理、資源利用の許可等）
- ✓ 各種プログラムの実施（及び実施への協力）

外国人も満喫できる各種体験・滞在プログラム創出プロジェクト



## 10年後に目指す姿

胎内の自然（海・山・川）を活かしたり、胎内の食が生活文化とともに味わえたりする各種の体験・滞在プログラムが、胎内を訪れる外国人観光客も楽しめるようになっている。


## 実施すべき取組

- ✓ 外国人目線での各種体験・滞在プログラムの見直し・創出
- ✓ 外国人向けの各種体験・滞在プログラムの販売・PR

## 市民の皆様の役割

- ✓ 外国人向けの見直しへの協力（対応可能な事項の検討等）
- ✓ 各種プログラムの実施（及び実施への協力）

## 戦略2 既存の施設の充実・活用を推進する



市内の観光関連施設の見直し・整備推進プロジェクト

10年後に目指す姿


胎内の観光振興にとっての重要性や役割から、市内の観光関連施設の維持・縮小・統合・閉鎖等が進められる一方、重要性の高い市内の観光関連施設については整備が進み、観光客の満足度も高く充実した施設になっている。

実施すべき取組

- ✓ 市内の観光関連施設のハード面・ソフト面の方針策定
- ✓ 市内の観光関連施設の整備等推進

市民の皆様の役割

- ✓ 方針検討に際しての意見出し、運営等で協力できる部分の検討・実施
- ✓ 運営等で協力できる部分の検討・実施



市内の各地区及び観光関連施設の連携強化プロジェクト

10年後に目指す姿


市内各地区での取り組み等が共有されるとともに、市所有だけでなく民間事業者所有の観光関連施設も含めた各施設の情報共有され、連携したプログラムやイベント等が実施されている。

実施すべき取組

- ✓ 市内各地区や観光関連施設間の情報共有の仕組み構築
- ✓ 市内各地区や観光関連施設が連携したプログラムやイベント等の実施

市民の皆様の役割

- ✓ 口コミ、SNS等での情報提供、情報共有への協力
- ✓ プログラムやイベント等で協力できる部分の実施



既存の施設等を活用した飲食/物販の核となる場づくりプロジェクト

10年後に目指す姿

胎内の魅力ある各種素材を活かした料理や加工品等が一定程度揃い、味わったり購入したりする事が出来る場所が整備されている。

実施すべき取組

- ✓ 飲食/物販の核となる場の整備方針策定
- ✓ 核となる場と他の飲食/物販施設との連携の仕組み構築

市民の皆様の役割

- ✓ 方針検討に際しての意見出し、運営等で協力できる部分の検討・実施
- ✓ 口コミ、SNS等での情報提供

市内各スポットを巡ることのできる二次交通整備プロジェクト



## 10年後に目指す姿

電車で胎内を訪れた人が、バスやタクシー、レンタサイクル/シェアリングサイクルなどを利用して市内の観光スポットや観光関連施設に容易にアクセスできるようになっている。

## 実施すべき取組

- ✓ 市内を巡ることが可能な交通システムの整備
- ✓ レンタサイクル/シェアリングサイクルの整備

## 市民の皆様の役割

- ✓ 整備された交通システムの積極的な利用、口コミ・SNS等での情報発信
- ✓ 整備されたレンタサイクル/シェアリングサイクルの積極的な利用、口コミ、SNS等での情報提供

回遊を促す案内・誘導ツールの充実プロジェクト



## 10年後に目指す姿

胎内の観光スポットや観光関連施設が、市内のどこにあるかが分かりやすく示されたツール（冊子、HP、看板等）が整備され、訪れる人が容易にアクセス出来るようになっている。

## 実施すべき取組

- ✓ 観光案内・誘導ツールの整備
- ✓ 観光ルート of 整備

## 市民の皆様の役割

- ✓ アクセスしづらい観光スポットや観光関連施設の情報提供
- ✓ ルート設定に際しての意見出し、協力できる部分の検討・実施





### 10年後に目指す姿

市外から胎内を訪れる人が増加し、胎内の様々な魅力を楽しむとともに消費活動が促進されることによる効果が見える形で示され、多くの市民が観光による効果を認識している。

### 実施すべき取組

- ✓ 観光に関する各種統計の整備
- ✓ 観光による効果の発信

### 市民の皆様の役割

- ✓ アンケートや聞き取り調査への協力
- ✓ 観光に対する意識・関心の向上



### 10年後に目指す姿

市内各地区や集落において展開される、各種の観光資源（自然、食、生活文化等）を活用することで交流人口を増やし、地域を活性化していく取り組みをはじめとした、胎内の観光活性化に関わる取り組み（＝「観光まちづくり」）に、多くの市民が参加している。

### 実施すべき取組

- ✓ 市内各地区や集落単位での「観光まちづくり」の取り組み推進
- ✓ 各種体験・滞在プログラムの担い手の育成

### 市民の皆様の役割

- ✓ 観光に対する意識・関心の向上、取り組みへの積極的な参加

## 2つの横断的取組



### 10年後に目指す姿

観光ディレクターを核に、胎内の観光まちづくりに積極的な人材が参画する中核的な組織や体制が構築され、市内の各種事業者・団体及び住民と密接に連携して、活発に活動している。

### 実施すべき取組

- ✓ 「観光ディレクター」の配置
- ✓ 観光まちづくりをマネジメントする体制づくり

### 市民の皆様の役割

- ✓ 観光ディレクターと連携した取り組みへの積極的な参加
- ✓ 観光に対する意識・関心の向上、胎内の観光まちづくりに関する取り組みへの協力



### 10年後に目指す姿

多くの観光施設が集積する「胎内リゾート」が、1つの魅力的なエリアとして市外から認識され、安定して観光客が訪れるとともに、市内の観光関連施設や各地区・集落との観光客の行き来が活発に行われている。

### 実施すべき取組

- ✓ 経営改善化に向けた計画の策定
- ✓ 市内の観光関連施設や各地区・集落との連携強化

### 市民の皆様の役割

- ✓ 計画策定への協力
- ✓ 体験・滞在プログラムの実施や連携への協力

